

科目名	異文化ゼミナール	科目コード	1152	単位数	2
担当者名	保坂 智	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次

● 授業のねらい

「異文化」とは他国の文化とは限らない。現代日本において、平安時代の物語を読むことも十分異文化体験と言える。かるたとして根付いている百人一首をテキストとし、多くの現代語訳と比較しながら読み、古語 現代語という翻訳過程で明らかになる文化の特性を考えつつ和歌を解釈する。

● 到達目標

- ・百人一首というテキストを理解した上で、和歌を解釈する。
- ・古典日本語、現代日本語の特性を理解する。
- ・比較を通して「解釈」とはどのような営みなのかを体験的に学習する。

● 授業内容

1週目 ガイダンス（ゼミナールの進め方、百人一首について）

2週目 かるた

3週目 担当者 2首

4週目 担当者 2首

5週目 担当者 2首

6週目 担当者 2首

7週目 担当者 2首

8週目 担当者 2首

9週目 担当者 2首

10週目 担当者 2首

11週目 担当者 2首

12週目 担当者 2首

13週目 担当者 2首

14週目 担当者 2首

15週目 レポート発表

16週目 課題に対するフィードバックを実施。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講を行う。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

対象の和歌を必ず読んで、気になった表現等を調べておくこと。訳の違いを指摘し、自分の解釈や意見を述べて、活発なディスカッションをすること。

● 成績評価の方法・基準

レジュメの作り方、疑問点の適切さ、レポートのできとともに、毎時間の質問等発言を加味する。担当箇所の発表40%、レポート30%、ゼミナール中の発言や参加態度30%。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

授業の性質上必ず出席することはもとより、レポーターに積極的に質問をし、討議を活性化させることを期待する。

● テキスト

- ・島津忠夫訳注『百人一首』（角川ソフィア文庫）691円

● 参考書

- ・鈴木健一『古典注釈入門』（岩波現代全書）2592円

その他適宜紹介する。

● 更新日付

2019/02/27 03:30